

## 近畿地域の経済は、低迷しているものの一部に持ち直しの動き

### 1. 全体の動向

中国を中心とするアジア地域の需要回復により、素材(鉄鋼、化学)、電機機械等を中心に輸出及び生産は持ち直しの動きが続き、個人消費も経済対策により一部に持ち直しの兆しがみられるが、何れも水準は低く、設備投資は大幅に減少、雇用はさらに悪化方向にあるなど総じて低迷している。

### 2. 個別の動向

#### (1)生産 ～持ち直しの動き～

在庫調整の進展、中国を中心としたアジア向け輸出の持ち直し、経済対策を背景に電子部品・デバイス、電気機械、素材(鉄鋼、化学)産業で持ち直しの動きがあるが、水準は低く、先行きは不透明で楽観視出来ない。

#### (2)設備投資 ～総じて大幅に減少～

薄型ディスプレイや電池関連等の大型案件が継続し、環境、特定分野への戦略、研究開発投資に注力が広がるも、企業収益の大幅な減少や設備過剰感、個人消費の低迷等から幅広い業種で大幅に減少し総じて抑制色が強い。

#### (3)雇用情勢 ～さらに悪化している～

希望退職者の募集や新卒・中途採用の大幅縮小により、人員削減の動きが正社員にも広がっている。また、雇用調整助成金等の届出件数も高水準で推移。8月の近畿の失業率は6.7%と一段と悪化している。

#### (4)個人消費 ～一部に持ち直しの兆し～

雇用・所得環境の悪化を背景に生活防衛意識の高まりから単価下落が続いており、百貨店やスーパーは低迷している。家電はエコポイントにより薄型テレビが売れ、自動車はエコカー減税・補助金によりマイナス幅が縮小。

### 3. 地域経済のトピックス

- 製造業においては、ゆるやかなし字型回復を見込む声が多いが、特に機械関連では、好調であった設備投資の大幅な減少の影響を懸念。非製造業においてはインフルエンザの流行による個人消費関連への影響を懸念。
- 中国向け輸出は需要喚起策によって電気機器、建設を中心に持ち直しの動き。米国、欧州向けは総じて低迷しており、先行きも不透明。

